





令和7年度 青少年相談センター屋上防水改修修繕

図 面 リ ス ト	
番 号	名 称
—	表紙、図面リスト
A－1	共通特記仕様書（建築工事）
A－2	改修特記仕様書、案内図
A－3	配置図、屋根伏図、仮設計画図（参考）
A－4	雑詳細図、現況写真

共通特記仕様書（建築工事）			Ⅱ. 工事契約関係			2-11. 材料の品質等		1. 本工事に使用する材料は設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、設計図書に定めのない材料は、当該現場で仕様するほかの材料と比べてバランスの取れた材料とすること。なお、材料は製造工場により品質管理がなされたものとする。 2. 設計図書に定めのある材料については、材料の品質及び性能を有することの証明となる資料を監督員へ提出し、あらかじめ承諾を受けること。 ただし、下記の(1)～(4)に該当する場合は、この限りではない。 (1)設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示があるものを使用する場合 (2)あらかじめ監督員の承諾を受けた材料を使用する場合 (3)設計図書により指定された材料、製造者の製品お使用する場合 (4)「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(契約時の最新版)」に記載されている評価材料を使用する場合(特記等で公共建築工事標準仕様書・公共建築改修工事標準仕様書の規定に基づく品質及び性能以外の材料を規定した場合は除く。) 3. 設計図書において、指定された材料・製品等については、指定された材料・製品等を使用すること。ただし、種々の関係からやむを得ず同等以上の材料とする場合で、あらかじめ材料の品質、性能等の証明となる資料等を示し、監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。											
Ⅰ. 工事概要			2-1. 用語の定義 「監督員」とは、相模原市請負工事監督規程による監督員をいう。 2-2. 工事実績情報 (GORINS) の登録 受注者は、契約金額500万(税込み)以上の工事を締結した場合、(一財)日本建設情報総合センターへ工事実績情報の登録をしなければならない。 登録は、登録(受注登録・変更登録・竣工登録)が必要な時期に速やかに実施すること。 2-3. 施工体制台帳及び施工体系図の作成 受注者は、下請契約を締結したときは、施工体制台帳を作成し現場に据え置かなければならない。 また、併せて施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 2-4. 質疑に対する協議 設計図書に疑義が生じた場合は、監督員と協議を行い承諾を得てから施工を行う。 2-5. 施工図等 1 受注者は施工に先立ち、工事に関連する部分の実測を行った上で設計図書との照合を行い、所定の寸法が確保できることを確認する。なお、寸法等の変更を要する箇所が生じた場合には監督員に報告するとともに、施工図、製作図等を作成し監督員の承諾を受けること。 2 製作、発注物品の同等確認等は製作・発注前に必ず監督員の承諾を受けること。 3 施工上の納まり、取合い等の関係で軽微な変更を行う場合は、監督員との協議による。 2-6. 工事の一時中止に係る事項 1 工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けること。 2 工事の施工を一時中止する場合には、工事の続行に備え工事現場を保全すること。 2-7. 実施工程表の提出 1 受注者は、工事の着手に先立ち、別契約を含む施工上密接に関連する工事の関係者と調整のうえ、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。なお、契約金額が5,000万円以上の工事の実施工程表は、原則ネットワーク手法による。 2 実施工程表には、月毎の予定進捗率（％）を併記する。 2-8. 工事写真 1 工事（工程）写真 (1) 工事（工程）写真については、営繕工事写真撮影要領 工事写真撮影ガイドブック 各工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に準拠すること。 上記により難しい場合、監督員と協議し決定すること。 2 完成写真（契約条項第32条に基づく工事完成届に添付） (1) 工事着手前と完成後を同じアングルで撮影し、完成写真帳として見開きで比較できるよう整理する。 (2) 解体工事にあたっては、上記に加え地下埋設部分の施工写真を添付する。 2-9. 発生材の処理等 1. 建設副産物 (1)建設副産物(コンクリート・アスファルト塊・路盤材) 「建設副産物適正処理推進要綱」による。 2. 発生材 受注者は、関係法令に従い、受注者の責任において処分を行うものとする。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」において定める産業廃棄物管理表(紙マニフェスト)または電子マニフェストにより管理するものとする。産業廃棄物管理表(紙マニフェスト)で管理した場合は、A票及びE票が送付され次第、その原本を監督員に提示する。電子マニフェストで管理した場合は、運搬終了報告、処分終了報告、最終処分狩猟報告の通知が届く通知が届き次第、その原本を監督員に提示する。 2-10. 環境への配慮 1. 使用する材料及び施工方法については、室内環境に配慮した選定を行い、室内環境に影響を与える可能性のある材料等については監督員の指示により、その物性等の確認できる資料を提出する。 2. 国等による環境物品等の調達の推進に関する法律(平成12年法律第100号。以下「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 3. 使用する材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の拡散による健康への影響に配慮する。 4. 工事に使用する材料は、石綿を含有しないものとする。			2-12. 材料検査 受注者は、材料の現場搬入の際、当該材料が設計図書に定められた仕様と適合していることを確認する。このうち、次に指定する材料については監督員の材料検査を受けるものとする。また、指定する材料以外のもので監督員が必要と認めた場合は材料検査を受けること。 <table><tr><th>工程</th><th>指定する材料</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		工程	指定する材料	備考							2-13. 足場 足場を設ける場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドラインについて(厚生労働省 平成21年4月)」の「手すり先行工法に関するガイドライン」による足場(手すり先行専用足場又は枠組み足場又はくさび緊結式足場)とする。 足場の組立、解体、変更の作業は、手すり先行工法により行うとともに、使用時には、枠組み足場(妻面を除く)にあっては、交さ筋かい＋幅木等＋上さん等(各両側)、枠組み以外の足場(枠組み足場の妻面を含む)にあっては、手すり等＋中さん等＋幅木等(原則各両側＋妻側)の機能を有するものを設ける又はこれらと同等以上の措置を講じるものとする。 なお措置については、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における「手すり据置方式」又は「手すり先行専用足場方式」により行うこと。 上記により難しい場合は、監督員との協議による。 2-14. 工事看板 1. 工事現場には、公衆が見やすい場所に次の事項を記載した工事看板を表示する。 (1)工事名称 (2)工事期間 (3)受注者及び連絡先 (4)現場代理人氏名及び連絡先 (5)工事概要 (6)発注者及び連絡先 (7)工事管理者及び連絡先 2. 工事現場が複数にわたる場合にも、各現場に設置するものとする。ただし、これにより難しい場合は監督員との協議による。 2-15. 施工中の安全確保及び環境保全 工事の施工中にあたっては、関係法令により、工事現場における表示施設等を設置すること。 2-16. 契約不適合点検 契約条項第13条に規定する契約不適合責任に伴う、契約不適合点検の要・不要については、現場説明書(3-(9)契約不適合点検)による。工事目的物の引渡しの日から1年以内(原則として引渡しの日から起算して11か月を経過以降、12か月を経過する以前の期間)に工事目的物の、契約不適合点検の実施及び立会いを行う。 受注者は、契約不適合点検において、契約不適合があると認められたときは、契約条項のとおり、履行の追完等に対応すること。 2-17. 契約後の書類提出 受注者は、工事の着手に先立ち、現場代理人届及び工程表届、修繕計画書等を提出し、監督員の承諾を受ける。		
工程	指定する材料	備考																	
	SAGAMIHARA		工事名称	青少年相談センター屋上防水改修修繕		課長	総括主幹	総括副主幹	担当	合議	縮尺	NS	図面名称	共通特記仕様書（建築工事）	1 A				
	相模原市										設計年月日	R7. 11							

<div>I. 建築工事 改修特記仕様書</div> <div>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記仕様書等のうち、現場説明書2-(5)に図を付けたものを適用する。</div> <div>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。</div> <div>(3) 本特記仕様書の表記<div>1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</div><div>2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。</div><div>○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</div><div>○ 印と ※ 印の付いた場合は、○を優先する。</div><div>3) 特記事項に記載の表示について、() 内表示番号は公共建築工事標準仕様書【 】内表示番号は公共建築改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</div></div>		<div>3</div> <div>防水改修工事</div> <div>1. 施工一般 (3. 1. 3)</div> <div>2. 既存防水の処理 (3. 2. 3) (3. 2. 4) (3. 2. 6)</div> <div>3. 既存防水層下地の処理 (3. 2. 6)</div>		<div>降雨等に対する養生方法</div> <div>※【3. 1. 3(5)(ア)～(ウ)】による。 ・()</div> <div>既存保護層の撤去 ・行う (範囲 ・図示 ・)</div> <div>・行わない</div> <div>既存防水層の撤去 ○行う (範囲 ○図示 ・)</div> <div>・行わない</div> <div>露出防水層表面の仕上げ塗装除去</div> <div>・行う (・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X)</div> <div>・行わない</div> <div>既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 ・()</div> <div>POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水槽を非撤去とした立上がり部等の補修及び処置</div> <div>※【3. 2. 6(4)(ウ)(g)①～③】による。 ・()</div> <div>架台周り等の処置</div> <div>※図示 ・()</div>		<div>4. 塗膜防水 (3. 1. 4)</div> <div>(3. 6. 3) (表3. 6. 1) (表3. 6. 2)</div> <div>(3. 6. 3) (表3. 6. 3) (3. 2. 5)</div> <div>(3. 2. 6)</div> <div>(表3. 6. 1)</div> <div>・塗膜防水工法</div> <div>防水層の種類</div> <div>○ウレタンゴム系塗膜防水 施工箇所(図示)</div> <div>(改修工法)・POX ・L4X</div> <div>(防水層種別)・X-1(絶縁工法) ・X-2(密着工法)</div> <div>・X-1H(絶縁工法) ・X-2H(密着工法)</div> <div>・ゴムアスファルト系塗膜防水 施工箇所()</div> <div>(改修工法)・P1Y ・P2Y</div> <div>(防水層種別)Y-2</div> <div>改修用ルーフトレンの設置 (POX工法の場合)</div> <div>・有 ・無</div> <div>○既存下地の処理</div> <table><tr><th>補修箇所の形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>○(図示)</td><td>○(図示)</td><td>○(図示)</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table> <div>仕上塗料の種類及び使用量(X-1、X-2の場合)</div> <div>種類()</div> <div>使用量 ※主材料の製造所の仕様による ・()</div>		補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	○(図示)	○(図示)	○(図示)	・()	・()	・()	・()	・()	・()	<div>(3. 6. 3)</div> <div>(表3. 1. 1)</div> <div>(表3. 6. 2)</div> <div>(表3. 6. 3)</div> <div>脱気装置の種類及び設置数量(絶縁工法の場合)</div> <div>種類 ※主材料の製造所の仕様による</div> <div>・()</div> <div>設置数量 ※主材料の製造所の仕様による</div> <div>・()</div> <div>保護層の適用(P1Y、P2Yの場合)</div> <div>・有(厚さ) ・無</div> <div>工程数及び各工程の使用量(Y-2の場合)</div> <div>・工程1 材料() 使用量()</div> <div>・工程2 材料() 使用量()</div> <div>・工程3 材料() 使用量()</div> <div>・工程4 材料() 使用量()</div> <div>・工程5 材料() 使用量()</div> <div>※主材料製造所の仕様による</div> <div>工程5の保護層の仕様()</div> <div>※保護モルタルとした場合、工程4の絶縁シートは省略</div>	
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																			
○(図示)	○(図示)	○(図示)																			
・()	・()	・()																			
・()	・()	・()																			
<div>案内図 NO SCALE</div>																					
<div></div>																					
<div>1. 適用区分</div> <div>・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</div> <div>・風圧力 ・32m/秒(旧津久井、相模湖、藤野)</div> <div>○34m/秒(その他地域)</div> <div>風速(Vo= m/s)</div> <div>地表面粗度区分(・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)</div> <div>・積雪荷重</div> <div>※ 垂直積雪量 ・40cm(旧城山、津久井、相模湖、藤野)</div> <div>○35cm(旧市域)</div>		<div>2. 環境への配慮</div> <div>(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</div> <div>①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「アセトアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</div> <div>②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</div> <div>③接着剤は可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。</div> <div>④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</div> <div>(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</div> <div>①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</div> <div>②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</div> <div>③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</div> <div>④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</div>																			
<div>2. 仮設工事</div> <div>1. 足場等 (2. 2. 1) (2. 1. 3) (表2. 2. 1)</div> <div>2. 既存部分の養生 (2. 3. 1)</div>		<div>○外部足場 設置範囲 (図示)</div> <div>種別 ※杵組足場 ○くさび緊結式足場 ・()</div> <div>保護シートによる養生 ※行う ・行わない</div> <div>設置位置 ※図示 ・()</div> <div>騒音、粉じん等の対策 ・行う ○行わない</div> <div>対策の方法 ・防音パネル ・防音シート</div> <div>設置範囲(防音パネルの場合) ・()</div> <div>・内部足場 設置範囲()</div> <div>種別 ※脚立、足場板等 ・()</div> <div>材料、撤去材等の運搬方法</div> <div>・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種</div> <div>(C種、D種の場合)利用可能な個所 ※図示 ・()</div> <div>○既存部分の養生 範囲(防水改修工事に関係する範囲)</div> <div>方法 ※ビニルシート、合板等 ・()</div> <div>・既存家具、設備等の養生 範囲()</div> <div>方法 ※ビニルシート等 ・()</div> <div>・既存ブラインド、カーテン等の養生 範囲()</div> <div>方法 ※ビニルシート等 ・()</div> <div>保管場所 ・図示 ・()</div> <div>・固定された備品、机、ロッカー等の移動</div> <div>移動する物()</div> <div>移動先()</div>																			
<div></div> <div>SAGAMIHARA</div> <div>相模原市</div> <div></div>		<div>工事名称</div> <div>青少年相談センター屋上防水改修修繕</div>		<div>課長</div> <div>総括主幹</div> <div>総括副主幹</div> <div>担当</div> <div>合議</div>				<div>縮尺</div> <div>NS</div> <div>設計年月日</div> <div>R7. 11</div>		<div>図面名称</div> <div>改修特記仕様書、案内図</div>		<div>2</div> <div>A</div>									

